

安全で楽しい山仕事のために

相模湖 若柳・嵐山の森 山の安全マニュアル

2005年6月

N P O 法人 緑のダム北相模

目次

1．作業の際の安全に気をつけよう～事故の予防と対策	
(1)事故が起きたときの最初の処置	1
(2)119番するときは	1
(3)切り傷・すり傷	1
(4)軽いやけど	2
(5)目に異物が入った	2
(6)出血	2
(7)骨折	2
(8)蜂に刺された・ムカデにかまれた	3
(9)毒蛾や毛虫にさわった	3
(10)毒蛇にかまれた	3
(11)植物にかぶれた	4
(12)熱中症に注意しましょう	5
参考1 救急箱内リスト	6
参考2 相模湖の活動での事故記録	6
参考3 健康カード	8
参考4 参考文献	8
2．作業時に使用している化学物質など	
(1)森林整備班	9
(2)間伐材活用班	9
(3)炊事班	9
(4)生態系調査班	9
3．土地や地域の安全にも配慮する～物品購入・廃棄・道具の管理についての考え方	
(1)物品購入について	10
(2)購入はできるだけ地元で	10
(3)道具管理について	11
(4)廃棄について	11
参考5 NPO 緑のダム北相模 道具一覧表	12

1. 作業の際の安全に気をつけよう～事故の予防と対策

山仕事には様々な危険があります。大勢で作業をしていると、つい夢中になったり、無理をしたりして、思わぬ事故を招くことがあります。事故が起きますと、自分だけでなく、山主さんにご迷惑をかけたり、会の活動にも支障が生じたりします。

幸い、私たちの活動では、これまでに致命的な事故は起きていません。しかし、度々、小さなケガは報告されています。大きな事故が起きなかったのは、たまたま運が良かっただけなのかもしれません。

作業の安全は、基本的には個人個人が気をつけ、無理をせず、自分の身は自分で守る姿勢が大切ですが、ベテランの人は初参加の人を気遣うなど、お互いに注意する余裕も忘れないで下さい。程度の大小にかかわらず、ケガなどの事故にあった場合には、「不名誉」なことと思わず、できるだけ会に報告してください。どのような状況で事故がおきたのかを記録することで、次回以後、他の人が同じような事故をおこさないための貴重な情報となるためです。

(1)事故が起きたときの最初の処置

万が一、自分や周りの人がケガなどをしてしまった場合には、できるだけ速やかに適切な処置をとりましょう。現場には、応急処置ができるように救急箱が準備されています。まずは現場で処置ができるものなのか、病院へ運んだほうがよいのかを判断することが大切です。

(2)119番するときは

「火事ですか、救急ですか」と応答があるので、「救急です」と告げます。

場所を伝えます。

住所...相模湖町若柳30 鈴木重彦さんの山

目標物...ドコモ通信塔のそばです

ケガをした状況、今どんな状態なのかを具体的に伝えます。

(例えば)木から落ちてケガをしました どうしてケガをしたのか

頭から出血しています ケガの状態

ケガ人・病人の氏名・年齢・性別を伝えます。

通報した本人の氏名も伝えます。

サイレンが聞こえたら、案内する人を出して誘導します。

「最寄りの救急受け入れ病院」

連絡先 津久井赤十字病院
042 784 1101
津久井郡津久井町中野 256

活動には必ず保険証(コピー)を持参してください。

また、「健康カード」(参考3)も携行しておく、処置の助けになる場合があります。

ボランティア保険に加入しますので、必ず事前に参加申し込みをしてください。

(3)切り傷・すり傷

【予防】

山にはいる時は長袖、長ズボン、軍手(あれば皮手袋の方が良い)を着用しましょう。

作業終了後、道具の手入れ時の思わぬケガに気をつけましょう。

【処置】

傷口が土砂などで汚れている時は、きれいな水で洗い流します。

十分に消毒します(マキロンでOK)。
清潔なガーゼで傷を十分に覆います。
包帯を巻いて保護します。

【注意】

包帯はきつく巻かないようにしましょう(血流を止めてしまう為)。
消毒した後の傷を触らないようにしましょう。

(4)軽いやけど

【処置】

どんどん冷やします。
・できるだけ早く、きれいな水で15分以上を目安に。
・痛みがなくなるまで冷やします。
十分冷やしてから、きれいなガーゼを当て、三角巾や包帯などをして病院へ

【注意】

絶対に薬品を塗ってはなりません。
衣類を着ている時は衣類ごと冷やします。
水疱を破らないように注意します。

(5)目に異物がいった

【予防】

作業の内容によってはゴーグルを着用しましょう。

【処置】

流水でよく洗い流します
異物がとれない時は、目をガーゼで覆い絆創膏でとめて保護し眼科にかかりましょう

【注意】

目に傷がつくのでこすらないようにしましょう。
水場がないところでは、各自、目薬を持っていると便利です。

(6)出血

【処置】

きれいなハンカチ・タオルなどを傷口に当て、手で圧迫します。
(片手で圧迫しても止血しないときは、両手で体重を乗せながら圧迫止血します)
傷口を心臓より高い位置に上げます。

【注意】

止血の手当てを行なうときは、感染防止の為、血液に直接触れないようにします。ゴム手袋や、なければビニール買い物袋などで手を覆います。

(7)骨折

【処置】

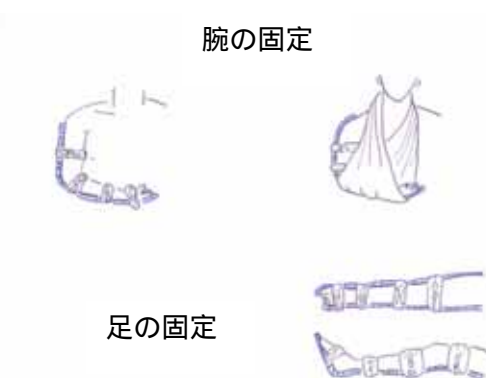
骨折の部位を確認します。
判断法・腫れて痛みが強い
・変形が認められる
骨折しているところを固定します。
・板等を使って副木を当てます
・骨折部を三角巾などで固定します

固定方法

右の図を参考にしてください。

【注意】

痛がっている所は動かさないようにします。



ポイント：固定する時は協力者に骨折部を支えてもらいます。

(8) 蜂に刺された・ムカデにかまれた

【予防】

黒い衣服を身につけないようにしましょう(蜂は黒いものに寄ってきます。また、化粧品などの匂いにも寄ってくると言われています)。

帽子をかぶりましょう(頭を刺されることもあります)。

事故の多いアシナガバチ類は、日当たりの良い場所を好んで巣をつくる性質があります。植林したばかりの幼齢林などを下草刈りでは、とくに注意してください。

【処置】

針が残っていたら、とげ抜きなどで抜きます。

毒を吸い出します。救急箱には専用の毒抜き(ポイズンリムーバーが準備されています)。

傷口を水で洗い流します。

レスタミン軟膏を塗ります。

ぬれたタオルなどで冷やします。

【注意】

蜂に刺されたあとに口のかわき、息苦しさを訴えるときはすぐに病院へ行きましょう(ショックをおこす可能性があります)。



嵐山の森に多いヒメホソアシナガバチ(実は比較的貴重な種)

(9) 毒蛾や毛虫にさわった

【予防】

山にはいる時は長袖、長ズボン、軍手(あれば皮手袋の方が良い)を着用しましょう。

【処置】

ガムテープで毒毛を取ります。

強くこすらず、せっけんで何度も洗い流します。

レスタミン軟膏を塗ります。

冷やします。

(10) 毒蛇にかまれた

【処置】

安静にします(動くと毒のまわりが早くなります)。

かまれた所より心臓に近い所で止血帯を巻きます。

毒を吸い出します。

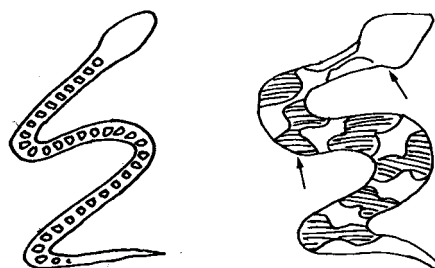
塗れたタオルなどで冷やします(毒の回りを遅くする)。

一刻も早く病院へ!!

指をかまれた!! 指の根元をしっかりと握って止血するとよいです。

【注意】

嵐山の森にいる毒蛇はマムシとヤマカガシですが、めったに出会わないほど個体数は少ないものですので、必要以上におそれることはありません。無毒のアオダイショウの幼蛇(こども)は、マムシに似た模様をしていますので見間違いも少なくありません。嵐山では少なくとも過去3年間に、マムシは1回しか目撃記録がありません。ヤマカガシはマムシなどと異なり毒牙が口の奥にありますので、通常かまれても問題ありません。



左：アオダイショウ幼蛇(無毒)
右：マムシ(有毒)
マムシは他の蛇に比べて体形が明らかに寸胴で、頭の後角が角張って三角形。アオダイショウ幼蛇の背紋はハシゴ状で、マムシは大きな円形の模様

(11)植物にかぶれた

【予防】

かぶれは個人差があります。一度かぶれて、接触原がはっきりした場合は、再接触しないように注意しましょう。

【処置】

接触部位を流水で静かに洗い流します。

(首などすぐに洗えない部位は清潔なぬれタオルで軽くおさえるように拭きます)。

接触部位を清潔に保つため、帰宅後シャワー浴・入浴をします。

皮膚科にかかり症状に応じた治療を受けましょう

【注意】

強くこすったり掻きこわしたりしないようにしましょう。

《嵐山の森で、かぶれる恐れがある植物》

ツタウルシ

ウルシ科の落葉つる性植物

ウルシ類の中でも最もかぶれる作用が強いといわれる。葉や枝を折ると白く濁った樹液が出て、これに触れるとかぶれることがある。かぶれの主成分はラッコール。小さな葉が3枚ずつつく三出複葉(さんしゅつふくよう)と呼ばれる形の葉が特徴で、地面をはったり、気根を出して他の木によじ登ったりする。地面をはう枝の葉は小さく、ふちにギザギザ(鋸歯:きょし)があることが多いのに対し、木によじ登る枝の葉は大きく、ふちにギザギザはないことが多い。嵐山では全域にごく普通に見られ、スギの幹によじ登っていることも多い。林内作業の際に、気づかずに素手や首筋に触れる可能性があるので注意が必要である。嵐山で植物かぶれにあった場合、大概はツタウルシが原因と思われる。



ヤマウルシ

ウルシ科の落葉小高木

高さ5~10mになる小高木。葉や枝を折ると白く濁った樹液が出て、これに触れるとかぶれることがある。かぶれの主成分はウルシオール。小さな葉が多数並んだ羽状複葉(うじょうふくよう)と呼ばれる形の葉で、多くの場合、軸の部分が赤いので見分けられる。幼木の際は葉のふちにギザギザがあることが多いが、大きくなるにつれてギザギザはなくなる。嵐山では個体数は多くないが、明るい林縁などに1~2mの幼木が点在しているのを見かける。ウルシ類の木は、燃やした時に出る煙でかぶれることもあるので、注意が必要である。



ヌルデ

ウルシ科の落葉小高木

高さ5~10mになる小高木。ヤマウルシ同様に、樹液に触れるとかぶれることがあるというが、普通はかぶれないのでさほど心配はいらない。葉の形は羽状複葉で、軸の部分に翼(よく)と呼ばれるヒレ状の葉がつくので簡単に見分けられる。嵐山では日当たりのよい場所に普通に見られ、特に伐採跡地には大小多数生えている。



(12)熱中症に注意しましょう

猛暑のなかの森での作業は、予想以上に体に負担をかけます。とくに、熱中症は事故の多い症例です。個人の予防によって防げるものですが、軽く見ると重篤な事態となる場合もありますので、十分に注意しましょう。

熱中症とは

高温多湿の環境下でおきる熱障害を総称して《熱中症》といいます。体温の異常上昇と電解質の異常が原因でおきます。

熱中症を甘く見てはいけません。予防は誰にでもできる簡単なものですが、もし熱中症にかかると、緊急度が非常に高く、医療設備の整った病院での適切な治療が必要となります。しっかりと予防をすることが大切です。

【予防】

塩分・水分を十分にとる(スポーツドリンクも効果あり)
熱中症になるのは、その日の体調と密接に関連しています。
睡眠不足や疲労などが引き金になることも覚えておきましょう。

【処置】

熱中症の種類・症状により下の表のような対処を行ないます。

意識がない場合はすぐに救急車を!!



種類	誘因	症状	処置
熱性けいれん	短時間に多量の発汗をし、水分のみを補給して、 塩分を摂取しない場合 におこりやすい(電解質のバランスの崩れ)	筋肉局所に痛みを伴うけいれん 腹痛 吐き気・嘔吐 軽度の意識障害	涼しい場所に移し、衣服をゆるめ、経口摂取が可能であればスポーツドリンクを飲ませる 意識がない場合はただちに病院へ
熱疲労 (一般に日射病と呼ばれているもの)	発汗による脱水 循環血液量の減少	倦怠感 頻脈 血圧の低下 頭痛・めまい 体温の上昇 軽度の意識障害	
熱射病 (熱中症のうちで 最も危険な もの)	高温多湿無風の環境下での作業	発汗の停止 (体温中枢の障害) 皮膚の乾き 高体温 意識障害	体温を下げる処置(冷たいタオルで顔やわきの下を冷やす等)をしながら、ただちに病院へ

上記症状は輻湊します

参考1 救急箱内リスト

現在、現場には次のようなものが用意されています。常に新しいものを十分に補充する必要があるため、使用した場合には、救急箱内のチェック表に記録をしてください。また、この他に目薬のように個人で準備するとよいものもあります。

分類	薬品・備品	個数			
消毒薬	マキロン	1本	その他	滅菌バット	8枚
	アポスティーロション	1本		滅菌バット(大・絆創膏付)	1枚
塗り薬	レスタミン軟膏(虫さされ)	1本		滅菌バット(小・絆創膏付)	1枚
	へびいちご(虫さされ)	1本		三角巾	1枚
	ウナコーワ(かゆみ止め)	1本		綿棒	10本
湿布剤	サロンシップ類(大)	2袋		サージカルテープ	1個
	サロンシップ類(小)	1袋		ハサミ	1本
	サロンシップ類(セクール)	1袋		とげ抜き	2本
	冷却シート	1袋		安全ピン	10個
衛生材料	包帯(大)	1本		ピンセット	1本
	包帯(小)	1本	レジ袋	3枚	
	バンドエイド	1箱	ティッシュ	1個	
	ネット包帯(腕用)	1本	ウエットティッシュ	1個	
	ネット包帯(指用)	1本	ビニール手袋	6枚	
	ネット包帯(足用)	1本	ポイズンリムーバー(毒抜き)	1組	
	ガーゼ	8枚			

参考2 相模湖の活動での事故記録

これまでに次のような事故の報告がありました。蜂刺されやきり傷が多い傾向があります。また、昼休みや作業活動後(道具の手入れ時)などにも注意が必要なこと、D地区のような急斜面での作業で事故の多いことなどもわかります。

ケガなどの事故の記録は、次回以後、他の人が同じような事故をおこさないための予防につながります。程度の大小にかかわらず、ケガなどの事故にあった場合には、「不名誉」なことと思わず、できるだけ会に報告してください。

No.	年月日 時間帯	傷病名・受傷部位	作業内容(事 故発生状況)	発生場所	内容	備考(その後の経 過・事後対策など)
1	2004.06.05	鋸で足を切る	森林整備中 に切る	協力協約D地 区	その場でタオルによる止血をして下山、基地で消毒をする。	この件以後、山に携行する救急袋を用意する。
2	2004.07.18 午前	蜂刺され(顔・腕)	毎木調査中 に刺される	定点2(ヒノキ 林)	直ちに毒を絞り出し、基地に戻り、流水で洗いレスタミン軟膏塗布、濡れタオルで冷やす。	手当て後は、山には戻らず、炊事班の手伝いをする。
3	2004.08.07	蜂刺され	蔓切り作業 中に刺される	B区東隣(54 区)		蜂の活性高し。声を掛け合うが、帯状・階段状に棲息、木陰の為確認不能であった。

4	2004.08.07	蜂刺され	毎木調査中に刺される	定点3(アラカシ林)		
5	2004.08.07 昼休み	鋸で左手を切る		基地	消毒し包帯を巻いた後、森仲間の車で津久井赤十字病院にかかる。6針縫合となる。	しばらくの間作業を休む。
6	2004.08.15 作業後	鎌で指を切る	作業後の鎌の手入れ中に切る	基地	消毒し絆創膏を貼る。	この件以後、道具の手入れ場所の必要性が検討され、道具手入れ専用のスペースが造られた。
7	2004.09.19 午前	トゲ	体験学校参加中		ピンセットでトゲを抜き消毒。	体験学校参加者も軍手が必要。
8	2004.09.19 午後	指を切る	ベンチ製作中に指を切る	基地	消毒し絆創膏を貼る。	
9	2004.10.17	鋸で右手首を切る	枝打ち作業中に鋸が当たり切る	D地区	消毒しガーゼを当てる。	
10	2004.10.17	首の後ろを虫に刺される	緑のダム学校参加中			
11	2004.11.21	下肢打撲	枝打ち作業中に転倒し、下肢を岩にぶつける。	D地区	フェルデン軟膏をすり込む	
12	2004.11.21 午前	落石が手に当たり切る	体験学校参加中、急斜面で手をついて登っていたところ、落石が当たり手を切る	D地区	消毒し絆創膏を貼る。	軍手をしていれば、ケガに至らなかったと思われる。
13	2004.11.21	手の甲打撲	材の移動中	製材所	フェルデン軟膏をすり込む	
14	2004.12.19	左下肢、右第二指を切る	枝打ち作業中	D地区	消毒し絆創膏を貼る。	
15	2004.12.19 午前	鋸で左第一指を切る	枝打ち作業中	D地区	消毒しガーゼを当てる	
16	2004.12.19	トゲ	体験学校参加中、転んで栗のトゲが刺さる			
17	2005.02.20 午前	右第2.3.4指挫傷	丸太移動中に、テコにしていた石と丸太との間に指をはさむ	D地区(天候:雨)	現場で直ちに洗浄、消毒、止血処置をする。基地に戻る。	雨天の軍手着用は、指に張り付いて保護効果が低い。丸太の扱いは、皮手袋が良い。丸太の手送りは周辺の状況(切株・岩)に細心の注意が必要。救急袋を持参し、すぐに洗浄した効果は大きい。
18	2005.02.20 昼休み	左第2指を切る	鋸の手入れ中に指を切る	基地	消毒し絆創膏を貼る。	

参考3 健康カード

活動には保険証(コピー)と一緒に、下記のような「健康カード」も携行しておく、いざというときに処置の助けになる場合があります

氏名		生年月日		血液型	
緊急時連絡先	住所				
	TEL				
持病の有無	高血圧症 糖尿病 心臓病 腎臓病 肝臓病 その他() 特に持病なし				
既往歴	(過去に入院するような病気やケガをしたことがあれば記入して下さい)				
服用中の薬					
かかりつけの医療機関	医療機関名		TEL		
	主治医名				
アレルギー	(過去にアレルギーをおこした薬があればその薬剤名を記入して下さい)				

参考4 参考文献

携行に便利なサイズの市販の文献もあります。それほど高価なものではないので、各自購入するのもよいでしょう。



左：みどりのボランティア安全手帳
(国土緑化推進機構、600円＋税)
右：いざというときすぐ役立つ救急ハンドブック
(池田書店、950円＋税)

2. 作業時に使用している化学物質など

活動では、原則的に人体や環境に有害な化学物質などは使用していません。ごく稀に、特殊な目的で使用する場合がありますが、微量であり、責任者の適切な管理の下で用いています。現在、嵐山の森で使用している化学物質などは、以下のとおりです。一時的に倉庫や現場などに置いてある場合がありますので、無闇にさわったりしないようにしましょう。

(1) 森林整備班(管理者：石村、富澤、清水)

「Husqvarna バイオチェンオイル」/ エレクトロラックス・ジャパン / 18L

「Husqvarna チェンオイル」/ エレクトロラックス・ジャパン / 18L × 2

「Husqvarna 2 ストローク用オイル(混合用)」/ 1L × 2

「レピアスチェンソーバーオイル植物性」/ 三興石油工業 / 18L

チェーンソーや引っ張りダコなどのパワーツール用の燃料はすべて共用です。

(2) 間伐材活用班(管理者：大坪)

「イワタニカセットガス」/ 岩谷産業 / LPG(液化ブタン) / 250 g × 3 焼き付け加工用?

「アスペンラッカースプレー」/ アスペン / ニトロセルロース、合成樹脂(アクリル)、顔料、有機溶剤 / 300ml

「タミヤカラスプレー塗料」/ 合成樹脂、ニトロセルロース、顔料、染料、有機溶剤、DME、LPG / 100ml × 2

「OSUMO オスモカラー専用刷毛洗淨液」/ 日本オスモ / 1L

(3) 炊事班(管理者：石村)

「液体せっけん」/ 生活クラブ生協連合会 / 500ml ボトル 1 本 / 脂肪酸カリウム / クエン酸、クエン酸ナトリウム、パーム核油

「マジックリン」/ 花王 / 500ml ボトル 1 本 / 界面活性剤(1%アルキルアミンオキシド)、泡調整剤、アルカリ剤

「アルコール除菌スプレー」/ フマキラー / 400ml ボトル 1 本 / 発酵アルコール / グレープフルーツ種子抽出物 / 緑茶抽出物 / 柿抽出物

「クレンザー」/ 生活クラブ生協連合会 / 100 g / 粉せっけん 15%配合

(4) 生態系調査班(管理者：篠田)

「クロロホルム CHCl_3 」/ 昆虫類調査における蛾類の捕殺 / 1 回につき 10cc 以下の使用。年間 500cc 以下 / 人体または環境へのリスク：医薬用外劇物。急性毒性(麻醉作用)がある / 管理体制：管理者の管理下以外では使用しない。現場には保管しない。必要最小限の使用にとどめ、通常はより毒性の低い酢酸エチル(以下参照)を用いる。揮発性のため微量な環境への放出は避けられないが、影響を与えるほどの量ではない。

「酢酸エチル $\text{CH}_3\text{COOC}_2\text{H}_5$ 」/ 昆虫類調査における一般殺虫用 / 1 回につき 50cc 以下の使用。年間 1000cc 以下 / 人体または環境へのリスク：医薬用外劇物 / 管理体制：管理者の管理下以外では使用しない。現場には保管しない。必要最小限の使用にとどめる。クロロホルムに比べ殺虫力は劣るが、人体への影響は少ない。

「酢酸ベンジル $\text{CH}_3\text{COOCH}_2\text{C}_6\text{H}_5$ 」/ 昆虫類調査におけるトラップ用誘引剤 / 1 回につき 10cc 以下の使用。年間 500cc 以下 / 人体または環境へのリスク：少ない / 管理体制：通常、トラップは人の手の届かない樹木の枝に設置するため、人の手に触れる可能性は低い。

「エタノール $\text{C}_2\text{H}_5\text{OH}$ 」/ 生態系調査における生物サンプル固定用 / 年間 1 リットル程度 / 人体または環境へのリスク：少ない / 管理体制：現場には保管しない。

3. 土地や地域の安全にも配慮する～物品購入・廃棄・道具の管理についての考え方

活動において個人個人の安全を確保するのと同じように、山や地域社会の安全にも気を使うことが大切です。ここでは、活動に必要な物品の購入や廃棄、道具の管理についての指針をまとめました。

(1)物品購入について

私たちは森づくりの活動を中心に多様な活動を行なっています。作業の種類が増えたり、参加者が増加したりして、新たに活動で使う道具の購入が必要になる場合もあるでしょう。

その場合、購入して欲しいという旨を事務局に相談し、基本的には事務局内で必要であるか否かを審議して、必要であると判断された場合にのみ購入する仕組みとなっています。なお、「が必要なので購入して欲しい」という連絡は、できるだけML(メーリングリスト)や、ホームページの掲示板など、活動に参加する多くの人の目にとまるところで行なうようにして下さい。欲しいと思っているものが既に会で所有しているという場合もありますし、活動メンバーが自宅で不要となったものを提供してくれる場合もあります。まずはメンバーどうしで、声を掛け合ってみましょう。

(2)購入はできるだけ地元で

【「地産地消」を推進しています】

最近、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味の「地産地消」というとりくみが注目されています。この言葉は主に農林水産業の分野で使われている言葉ですが、地域における生産者と消費者の結びつきを深め、お互いに「顔の見える関係」が構築できることから、全国の地方自治体で推進されはじめています。

例えば食材の場合を考えてみると、作り手の顔が見える安全・安心な農作物を手に入れることができます。輸送距離が短いので鮮度が高く、買い物時には土地の食材に適した地元ならではの料理法を聞くことができるかもしれません。輸送距離が短いということは同時に輸送エネルギーの節減につながり、「次世代に負の遺産を残さない」とする私たちの活動方針に沿うものでもあります。

私たちは、この「地産地消」のとりくみを、食べ物に限らず道具や雑貨などでも推進しています。例えば、同じ一本のボールペンでも都内で買うのではなく相模湖町のお店で購入すれば、売上の一部が町の税収となって地域へ還元されることとなります。ささやかなとりくみではありますが、活動参加者の多くが町外の間人である私たちにとって、活動の場を提供してくれている地域社会へ貢献することは、とても意味のあることだと考えます。参加者個人レベルでも、例えば、お昼の主食(ごはんやパン)を購入する際に、相模湖町内で購入するように心掛けてみてください。

【地域通貨『リバー』に協力します】

「地産地消」を推進するうえで、地域の資源・人材・環境にあらためて着目することは、地域社会との交流を生み、経済の循環を活性化させ、相模湖町をはじめとする桂川・相模川流域全体の魅力を高めることにつながります。私たちの活動は、「緑のダム」である嵐山の森を適切に管理することを大きな目的としていますが、会の内部だけで好き勝手なことをするのではなく、地元の人と一緒に力を合わせ、魅力ある地域社会を形成していくことも大切だと考えています。

地域社会とのよりよい関係の構築は、地域おこしや町おこしなどのとりくみやイベントに積極的に参加することでいっそう活発になります。現在、物品の購入に関わる地域のとりくみとして地域通貨『リバー』の活動が行なわれています。地域通貨とはある特定の地域・コミュニティ内で循環する通貨で、地域通貨の活動に参加している地域や店舗では通常のお金

と同様に商品を買うことができます。『リバー』は相模湖町商工会で発行し、現在、駅前商店街など町内の360企業(93店舗)が参加しています。これらのお店では『リバー』を円と同様に使うことができます。1000円分のリバーには50円分のプレミア、つまり「おまけ」が付いていて、1000円で1050円分の買い物ができるといった特典もあります。



地域通貨は限られた地域内でのみ使用できる通貨ですから、『リバー』を手にした人はその地域内で買い物をすることになります。つまり「地産地消」を促進することにもつながるわけです。また現在、私たちは、消費者(利用者)として『リバー』の活動に積極的に協力していますが、近い将来には木材や家具、炭、ハチミツ、キノコなどの林産物を提供する生産者として、私たちの活動を応援してくれる心強い味方となるかもしれません。

(3)道具管理について

【整理整頓を徹底し、破損・紛失は必ず報告します】

私たちは、会として各活動で使用する多くの道具を所有しています(参考5)。どれもシンプルなものばかりですが、作業を安全に効率よく行なうためには不可欠なものばかりです。作業で使った道具は必ず元の場所へ戻し、誰もが使いたい時にすぐに使えるよう整理整頓を心がけましょう。

また、活動中に道具を破損・紛失した場合には必ず報告しましょう。活動予定は道具があることを前提として計画しています。修理や道具の補充には時間もかかりますので、道具の破損・紛失の報告は迅速に行ないます。

【道具の手入れ】

道具の寿命は手入れによって異なります。1年しか持たないものでもこまめに手入れすれば、5年、10年と長く使うことができますし、逆に手入れを怠れば刃物などはすぐに使い物にならなくなってしまいます。こまめな手入れを心がけ、今ある道具を有効に利用していきましょう。

【外部への持ち出しはノートに記入】

私たちは、嵐山以外の場所でも活動を行なうことがあります。道具を外部へ持ち出す場合は、倉庫の入り口に掛けてある「持ち出しノート」に品名、数量、用途、返却予定日などを必ず記入し、返却時には返却済みであることを描きこんで下さい。「持ち出しノート」は現地で見ることができませんので、長期間に渡って持ち出す場合には、ML(メーリングリスト)などでも報告していただくと作業予定が立てやすくなります。

なお、道具の修理に関しても持ち出しと同様の手続きをお願いします。

(4)廃棄について

【目標は「来たときよりも美しく」】

みなさんは活動日に発生するゴミをどのように処分しているのでしょうか？

会では、「ゴミは原則持ち帰り」を合言葉に毎月の活動を行なっています。それは、美しい自然を楽しみに訪れる私たちが、自然を汚して帰ることを恥ずかしいことと考えるからです。例えば炊事班では料理中に出るゴミは町内のゴミ箱に投棄することなく、持ち帰りと焼却による処分を徹底しています。相模湖町内のゴミ箱を利用した場合、そのゴミは町のお金を使って処分されることとなります。それは地域社会への貢献を目指す私たちの目標と相反する

行為です。「ゴミは原則持ち帰り」この言葉を今一度確認しましょう。

【山の美味しいご飯はお土産として】

毎回の活動では、炊事班による美味しい料理が用意されており、それを一番の楽しみに参加している人も少なくないでしょう。炊事班では、参加者のみなさんにお腹一杯になってもらおうと、つつい作り過ぎてしまうことがあります。私たちは、そうした料理の残りも安易に廃棄することなどせず、参加者に呼びかけてお土産として持ち帰っていただいています。お昼ご飯の味が忘れられない人は、帰り際に炊事班の方に聞いてみましょう。帰宅後、もう一度、あの美味しいご飯を食べられるなんて、こんな幸せなことがあるのでしょうか。

参考5 NPO 緑のダム北相模 道具一覧表

現在、次のような道具があります(2004年11月30日現在)

これらは会のホームページ <http://www.midorinodam.jp/> で管理できるようになっています。

広場倉庫

品名	数量	品名	数量	品名	数量
ヘルメット (白)	49	ブルーシート	2	グラインダー	1
ヘルメット (黄)	3	ロープ (10 30m)	1	コンビカン	1
ヘルメット (緑)	5	ロープ (6 20m)	1	イヤマフ	1
鋸 (西山製)	2	ザイル (10 40m)	1	刈払い機	2
鋸 (腰鋸)	41	トラロープ (40m)	1	枝打ち梯子(三段継ぎ)	3
鋸 (竹挽き鋸)	4	砥石	20	枝打ち梯子(継ぎ足し用)	2
草刈り鎌 (大)	10	手袋	1打	枝打ち梯子(安全ベルト)	3
草刈り鎌 (中)	12	収納箱 (大)	2	TKS	1
手鎌 (刈払い用)	3	収納箱 (中)	1	パイプレール	2
手鎌 (草抜き用)	5	救急セット	1	アルミレール	1
鉋 (腰鉋)	7	図鑑	1	ロゴソール	1
薪割り (小)	1	やかん (7TY)	1	牽引機 (動力付)	1
唐鍬	2	水タンク	3	草刈り機 (動力付)	2
鳶口	2	チェーンソー	5	ガソリタンク(金属製)	1
スコップ (大)	9	チェーンソー(ゲージ)	2	燃料オイル容器	3
スコップ (穴掘り用)	1	ヤスリ (丸)	4	燃料用混合容器(ポリ)	1
薪割り (小)	1	ヤスリ (平)	1	軽トラック	1
薪割り (大)	1	ヤスリ(ハンドル)	2		

その他倉庫

品名	数量	品名	数量	品名	数量
鉋・ドリル	1	工具 (A)	1	大工用品	1
チャッカ	1	工具 (B)	1	鍵	1
ハンマー	1	工具箱	1	ドライバー	2
クランプ	1	カッター	1	ドリル刃	3
オイレノミ	1	広幅テッコー	1	ホウキ	1
ノコ	1	ホームコンテナ	2	ザクリ	2
ネオロック	1	ジグソー	1	板スプリング	1
水平器	1	ジグソー	1	パワーテノンカッター	1

安全で楽しい山仕事のために 相模湖 若柳・嵐山の森 山の安全マニュアル

2005年6月19日

執筆 小沼千佐子・篠田授樹・林将之・藤島斉 (五十音順)

発行 NPO法人 緑のダム北相模

〒154-0023 東京都世田谷区若林3-35-9

Tel&Fax 03-3411-1636 E-Mail info@midorinodam.jp

HP <http://www.midorinodam.jp/>